

ドリブル

発行：
第 519 号 茅ヶ崎サッカー協会
広報委員会
(Web版 024号)

2022年度 チビリンピック予選大会 優勝：FC東海岸

2022年度チビリンピック (U11) 予選大会が、9月10日予選トーナメント、11日決勝トーナメントが行われ、FC東海岸が、優勝。FC東海岸は、12月開催予定のチビリンピック茅ヶ崎市代表として出場する。

令和4年度 協会長杯 (3種) 萩園中学校 優勝

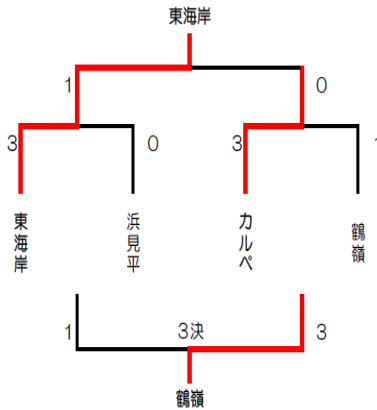
8月20日~23日にかけて(会場：市内中学校)行われた令和4年度協会長杯は、萩園中学校が優勝した。

新チームとしての初陣となる大会であり、各チームとも今後の飛躍に期待したい。

- 優勝：茅ヶ崎市立萩園中学校
- 準優勝：寒川町立旭が丘中学校
- 第3位：茅ヶ崎市立梅田中学校
- 茅ヶ崎市立北陽中学校
- 第5位 寒川町立寒川東中学校
- 茅ヶ崎市立浜須賀中学校



【決勝トーナメント結果】



優勝：FC東海岸
準優勝：カルベソール湘南
第3位：鶴嶺FC
敢闘賞：浜見平JSC

【予選リーグ結果】

Aブロック: 東子夕会場 (雨天時9/11(日)に順延)

	504	梅田	東海岸	順位
504	-	3-0	2-4	2
梅田	0-3	-	0-3	3
東海岸	4-2	3-0	-	1

Bブロック: 小和田小会場 (雨天時9/11(日)に順延)

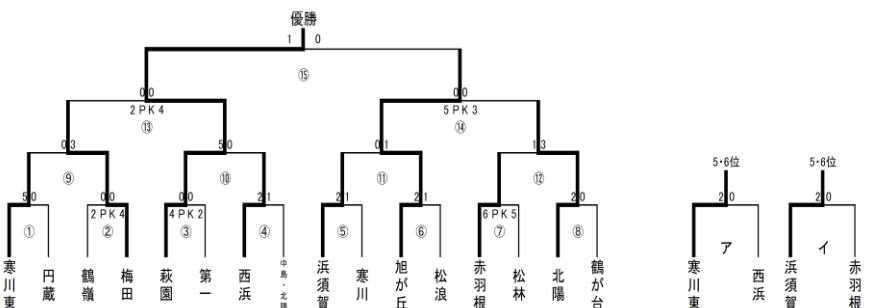
	浜見平	小和田	松浪	順位
浜見平	-	1-0	2-0	1
小和田	0-1	-	2-0	2
松浪	0-2	0-2	-	3

Cブロック: しおさい会場 (雨天決行)

	浜須賀	カルベソール	小出	順位
浜須賀	-	0-12	3-0	2
カルベソール	12-0	-	11-0	1
小出	0-3	0-11	-	3

Dブロック: しおさい会場 (雨天決行)

	鶴が台	鶴嶺	今宿	松林	順位
鶴が台	-	0-3	1-0	1-1	3
鶴嶺	3-0	-	11-0	4-1	1
今宿	0-1	0-11	-	0-3	4
松林	1-1	1-4	3-0	-	2



なでしこひろば in ちがさき

神奈川県サッカー協会女子部会主催、(協力：茅ヶ崎サッカー協会4種委員会)のなでしこひろばinちがさきが、8月29日柳島しおさい公園で行われた。

サッカーをやってみたい人、普段男子チームで活動している人、普段女子チームやスクールで活動している人、みんなで楽しみましようとの呼びかけに、市内3年生～6年生の女子児童28名が参加され、ボールを使っての動きやゲームなどを楽しんだ。



三村恪一氏を偲ぶ会

(茅ヶ崎サッカー協会 前名誉会長)

茅ヶ崎サッカー協会、前名誉会長の三村恪一氏(90歳)が、2月にお亡くなり、この度東邦チタニウムサッカー部OB会が中心となった実行委員会主催の偲ぶ会が、8月27日柳島スポーツ公園競技場・多目的室で開かれました。

会では黙とう後、神奈川県サッカー協会会長坂本氏、教え子の奥寺氏(横浜FC代表理事、兼シニアアドバイザー)、中央大学学友会サッカー部OB会、海上自衛隊厚木基地厚木マークスサッカー部、東邦チタニウムサッカー部、茅ヶ崎サッカー協会の代表者並びにご遺族から弔辞を頂きました。

最後は、参列者全員で献花をし、多目的室に展示された、思い出の品を見学し、皆さん故人を偲んでいました。



～コーナーフラッグ～

茅ヶ崎サッカー協会 広報委員会委員長 小林省吾

今年、観測史上最も早いと発表された梅雨明けの時期が大きく見直され、気象庁は、6月下旬としていた九州から関東甲信の梅雨明けが、1か月近く遅い7月下旬だったと発表しました。つまり、最速の梅雨明けでなかった、それはないだろうと、思った方も多しはず。

▲それはないだろうと言えば・・・。9月3日のJ1福岡vs名古屋の試合。同点に追いついた福岡が、その直後、名古屋に勝ち越し点を故意に決めさせる場面があり、福岡の長谷部監督が選手に守備しないよう指示。棒立ちする福岡の選手の間を縫い、名古屋がハーフウェイラインから一人でドリブルし、そのままゴール。原因は、試合開始直後の事。福岡のGKが味方選手と接触して頭を打ち、倒れ込んだ。主審が試合を止めずに流す間に、名古屋が先制点を決めてしまった・・・。その後、福岡が相手と交錯してピッチに倒れた。名古屋側が気遣い、保持していたボールをピッチ外に出して試合を止めた。

その後、試合は福岡のスローインで再開。一般的なプレーマナーとしては、福岡が名古屋にボールを返す場面だが、福岡が拾ってドリブルを仕掛け、パスを受けゴールを決めた。フェアプレーの精神に反すると見た名古屋の長谷川監督が「それはないだろう」と福岡側に抗議。長谷部監督が守備放棄による「お返しゴール」を指示した結末。

スローインの場面について、相手選手を見ずに投げた。意図とは違った結果になり、申し訳ないと釈明。長谷部監督は、試合開始直後のことが頭に残り、仕返しではないが(それと)同じような感覚が出てしまったのではないかと。修正するには1点を渡すしかないの、修正したつもりと説明した。

▲なかなかお目にかかれない珍シーンと意図とは違う結果・・・を皆さんは、どう思われますか。